



2019年 総領事館 新年会

1月24日(木)、福島総領事は、公邸において新年会を開催しました。当日は、在留邦人や日系人団体代表者等の日米交流関係者を中心に約130人の招待客で賑わいました。

冒頭、福島総領事は、当地における日本のプレゼンスの高まりに触れつつ、注目されているテキサスと日系コミュニティの更なる連携強化への期待を述べました。次に、来賓代表の小風寧ヒューストン日本商工会会長から、平成最後という節目にふさわしいヒューストン商工会会長としての職務を全うし、新たな時代に向かって日本コミュニティが一丸となって協力していきたいとのお挨拶をいただきました。この後、ビル・ワイランド・ヒューストン日米協会前会長より、翌25日の同協会主催ジャパン・アップデートについてご案内いただきました。

福島総領事、小風会長、ワイランド前会長、武智真二ヒューストン日本人会会長及び日系人関係者代表としてグレン権藤氏が法被を着て、鏡割りを行いました。その後、武智会長が、新年のお祝いと日本人コミュニティの今年の更なる団結と発展を願って乾杯の音頭をとり、会場が唱和しました。

地元ヒューストンに加えて、ダラス、サンアントニオ、オースティン、マッカーレン等の各地からもご出席いただき、和やかで明るい雰囲気のもと、年始の挨拶を行う機会となりました。また、テキサスにおける日本食交流の現状紹介のため、愛媛産のオレンジブリヤオースティン産の日本酒「テキサス酒」をご用意し、皆様に味わっていただきました。

(文責:総領事館)



目次	1... 2019年総領事館新年会	4... 新年会写真集・会社紹介	7... アゼリアトレイル・ピーカンキッズ	10... テキサスメディカル
	2... 常任委員会議事録	5... 晴着撮影会・お助けマップ	8... 牧場日記	11... 各種告知
	3... 講演会	6... ロッキー山脈登山	9... 日本人会新年会・駐妻日記	12... 知っとな・Houston Walker・編集後記

会員限定

中間選挙を経て＝米国政策の展望

平成31(2019)年1月17日(木)2:00 pm～3:30 pmに、United Way Community Resource Center内オーディトリウムを会場に、米国三井物産(株)副社長兼ワシントンDC事務所長の緋田順様による標記演題の講演会が行われましたので、概要を紹介いたします。

日替わりメニューのように連日刻々と飛び込むニュースに振り回されるワシントンの現場から、2019年の米国政治経済と2020年の大統領選を展望したい。

<中間選挙総括>

2016年の選挙の際のデータを使って投票率と有権者数を乗じたいわば“投票力”という専門家のデータが、2018年の中間選挙を読み解き2020年大統領選を展望する上で役立つかも知れないので紹介したい。2018年でも民主党が優勢だったが2016年の18-29歳のバンドの投票力を1とすると共和党が優勢の45歳-64歳のバンドはその約2.4倍の“投票力”があった。民主党を圧倒的に支持したアフリカ系、ラテン系、アジア系の“投票力”を見てみると共和党優位の白人はラテン系の8倍、アジア系の約20倍もの“投票力”があった。そういう意味では2016年、トランプキャンペーンは“投票力”の強い層に訴えかけた正しい戦略で戦ったことになる。他方で今回の結果からは45-64歳のバンドにおける共和党の優位性が失われたこと、白人を支持する共和党の優位が22ポイントから10ポイントまで縮まったこと、共和党優位だった男性、低学歴層、郊外、地方での支持が弱まったこと、消失したことが読み取れる。投票率の低い中間選挙の結果と高い大統領選の結果は無関係だと言われるものの、今回の中間選挙では投票率が5割近くと極めて高かったという事情に鑑みると、上記は2020年の大統領選を見る上で注目すべき特徴だと思考する。

<内政:第116議会 / 最高裁判事 / モラー特別検察官調査結果>

女性議員の絶対数、新人議員に占める女性の割合が共に史上最多、20代の最年少議員、初の女性米先住民議員、初のイスラム系女性議員の誕生など初物づくしが一つの特徴。27ある下院の委員会の全委員長が民主党から指名され、トランプ政権の監視・監督・調査が始まると言われる。国防長官始め閣僚の空席ポストも多く更に解任が噂される閣僚もある。周知の通りねじれ議会となり国境の壁を巡る政府閉鎖も講演本日時点で最長記録を更新中である。終身制の連邦最高裁判事はトランプ大統領になって既に2名が保守系に変わった。更に1名が保守系となれば最高裁判事の2/3が保守系となり、長きに亘って米国司法の方向性を規定する可能性がある。モラー特別検察官の調査報告で何が起こるか要注視だが、内容によっては民主党の攻撃が激化、共和党も反発し、国の分断が更に激化・先鋭化する虞もある。

<通商・外交>

自動車への追加関税、NAFTA 2.0とも言われるUSMCAの議会承認、米欧、日米など盛り沢山。但し3月1日交渉期限の米中問題を控え乍ら75%の職員が政府閉鎖の影響で自宅待機状態のUSTRのリソース不足もあり全般に日程は遅れ気味となる可能性あり。ピルズベリー氏の著書“The Hundred-Year Marathon”は政権幹部が読んでと言われるが、米中問題については共和党のみならず民主党からも徹底批判があり挙国一致で問題視されている根深い問題。ムニューシン財務長官など対中穏健派よりもポンペオ、ボルトン、ナバロ、ライトハイザー、ロスといった強硬派が現在は主流。経済への悪影響も視野に入れて貿易赤字についてのみ中国と部分合意しトランプ大統領が勝利宣言しつつ、知的財産権、不正なビジネス慣行等々の構造問題は継続協議となる可能性はあり得るが予断許さず。昨年8月成立の“2019会計年度国防授権法”にてHuaweiを含む中国企業5社の連邦政府での調達禁止の流れは所謂Five Eyesとも連携する日仏独にも広がりつつある。日本企業としても審査範囲と厳格さを増すCFIUSと併せ今後の動向を要注

視。米中以外にも、北朝鮮、ロシア制裁、イラン、サウジ、シリア情勢など国際情勢は緊迫化。

<米国経済>

リーマンショック以降続く景気拡大は今年6月には120か月と戦後最長に並ぶ。2020年にかけて減税効果の剥落やFRB利上げを受けて緩やかに減速と言われており、企業センチメントも急落してはいるものの、2019年にリセッションに陥るとの見方は薄い。但し貿易戦争の行方によっては減速では済まず景気後退に向かうという識者もいる。注意を要するのは財政赤字であり2020年には1兆ドルを超える見通し。減税や軍事費増によりトランプ政権になって2年間で20兆ドル以下だった債務残高は現在22兆ドル超と、2兆ドル以上増えている。

<2020年大統領選>

新年早々民主党から候補者が名乗りを上げ始め史上最長とも言われる大統領選の火蓋が落された。再選を目指すトランプ大統領の実績を見てみると、TPP離脱、NAFTA再交渉、関税賦課、イラン核合意からの離脱、米国人雇用創出、減税、金融規制改革法の緩和、環境規制緩和、パリ協定からの離脱宣言、保守派判事の指名など達成度合いは別にして公約を地道に実現している。残る公約はメキシコ国境の壁とオバマケア撤廃とロビイスト一掃くらい。最後のロビイスト一掃はトランプ政権のUncertaintyが逆にロビイストに頼る外国政府や企業を増やし公約実現は失敗したと言われるし、オバマケア撤廃も難しい為、国境の壁は或る意味、トランプ大統領にとっては譲れぬポイントとなっている。トランプ大統領支持に関しては、政府閉鎖などの影響はあり得るとはいえ、共和党支持者は相変わらず90%近く、民主党支持者は6%と低迷、無党派層の支持率は31%くらいに下がり全体で見れば37%、4割前後を就任後推移しており低い乍らも安定している。共和党からはジョン・ケーシック元オハイオ州知事やジェフ・フレイク元上院議員の名前も噂されるし、今後、“モラー調査結果”や元側近の証言、下院委員会での監視・監督・調査、外交上の致命的失政、経済の急激な鈍化など不測の事態が発生、トランプ大統領自身が再選意欲を失って1968年ジョンソン大統領同様に不出馬宣言でもすれば、ミット・ロムニーが名乗りを上げるという見方もある。但し、対抗馬の出馬阻止、共和党内でのトランプ離れを封じ込めるべく、トランプ大統領再選対策本部を共和党全国委員会と合体させるという策を既に講じたとの情報もある。他方の民主党からは多くの名前が挙がっている。ここTexas関連では既に名乗りを上げているフリアン・カストロ氏やそのカリスマ性が全国的に有名になったバト・オルーク氏などが有力候補と目されるものの共に経験不足も指摘されており、高齢のジョー・バイデン氏が1期限りと言明して出馬するという見方もある。経済状況と民主党の有力対抗馬の存在がトランプ大統領再選の鍵を握ると言われており、今年も更に目が離せない状況である。

講師：緋田 順(あけた じゅん)氏
米国三井物産(株)副社長兼ワシントンDC事務所長

<講師略歴>

一橋大学卒業。1984年に三井物産入社後、化学プラント部門、プロジェクト開発第一部部長、航空・交通事業部部長、アジア・太平洋本部副本部長(シンガポール駐在)等を経て2018年4月より現職。ワシントンDC 日本商工会理事、ワシントンDC日米協会評議員なども務める。



質疑応答



ヒューストン日本商工会 会社紹介

Kamei North America Co., Ltd.
水野 明德さん



1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

当社はカメイ株式会社(本社宮城県仙台市、以下「カメイ」)の100%子会社で、アメリカでスーパーマーケット事業を展開しているMitsuiwa Corporation(以下「ミツワ」)の親会社でございます。カメイは日本国内で石油・LPガスなどのエネルギー、酒類・食品、建設資材等の販売事業、調剤薬局事業等を展開しておりますが、2012年に事業多角化を目的としてミツワを買収いたしました。他にアメリカでは、日本食材卸売業(KC セントラル貿易グループ)、ニューヨークでの小規模店舗小売業(片桐)、また、カナダではラーメン店(「らーめん山頭火」)の運営を関連会社で行っております。

残念ながらまだヒューストンに事業所はございません。しかし、2017年4月ダラス近郊にミツワプレーノ店がオープンし、初めてテキサス州に拠点を持つこととなりました。

当社は、北米でのカメイグループの事業拡大を図るべく、M&A等による既存事業の拡大や新規事業創出の役割を担っております。これまで北米では食品事業に特化しておりましたが、会社の生業であるエネルギー分野での案件なども開拓できればと考えております。ヒューストンにも近い将来拠点が持てますよう頑張ります。

2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

私にとってテキサスのイメージはまず「石油」です。WTI、オイルメジャー、シェールといったところがすぐに頭に浮かんできます。カメイは長い間、石油、LPガスなどの石油製品販売を生業にして参りました。私も入社以来25年ほど船舶燃料販売に携わっておりましたので、石油は非常に馴染み深い商品です。ヒューストンにはまだ行ったことがありませんが、アメリカ、というか世界のエネルギー産業の本場にご縁が出来、今後訪問できるかと思うとワクワクします。それと、大変古いですが、ヒューストンのイメージといえばアポロ計画でしょうか。(笑)子供の頃に読んだ漫画「サザエさん」に、そば屋に出前の催促電話をかけた後、「はい、こちらヒューストン。」と返事されてサザエさんが青くなる作品がありました。なんともつまらない記憶なのですが、なぜか、いまだにこのフレーズが忘れられません。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

残念ながらこれといった深い趣味はありませんが、室内でのゲーム(カードゲームやマージャンなど)は大好きでございます。もし機会がありましたらお誘いいただければうれしい限りです。それとお酒も好きですので、是非御一緒させていただければ、これもまた大変うれしいです。

自宅はカリフォルニア州アーバイン市で、妻、娘と息子の4人で暮らしております。当地に駐在して4年目です。ヒューストンに居住していませんので皆様と交流する機会は多くはありませんが、JBAHのイベントで御挨拶させていただきたいと思っております。皆様とお会いできますのを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。



Showing Japan



新春 晴れ着撮影会

穏やかな晴天の1月12日、三水会センターにて今年も晴れ着撮影会が行われました。可愛らしい晴れ着姿のお子様、ご家族揃っての和装、また、成人式を思わせる振袖や羽織袴など、この一日に46名もの方にお越しいただきました。

一か月前からの予約受け付けに始まり、前日には会場と衣装、着付け用品の準備を整えました。当日は21名のメンバーが受け付け、髪セット、男性着付け、女性着付け、撮影室のそれぞれの持ち場で、皆さまのお支度を滞りなく進むように気を配りました。今年で10回目となるこの催しをお手伝いするメンバーは(中には“皆勤賞”も数名)、和服をいかに着心地良く着付けるかを心掛けながら、日頃の活動で得たコツや経験を活かして手を動かします。女性の場合は和装を一層華やか彩るには髪の設定が欠かせませんが、この日も熟練した技で多数の和風美人が仕上がりました。

日本人であっても和装で過ごす時間が失われつつあるこの頃、今年もこのヒューストンの地で和服に親しむひと時を楽しんでいただく機会となったこと、そして和装の沢山の笑顔に接し、そのお手伝いを出来たことをメンバーと共に嬉しく思いました。ご参加下さった皆さま、本当にありがとうございました。皆様から頂戴した参加費は、今後の活動費として、大切に使用させていただきます。

ヒューストンお助けマップ 活動紹介



ここヒューストン在住の日本人に向けて生活に役立つ情報をお届けすることを目的に、商工会婦人部が創ったWebページ「ヒューストンお助けマップ」。現在は、ボランティアのメンバーが月1回のミーティングを中心に活動・運営しています。

現在このWebページの主体となっているのが、グルメ情報を中心としたエリア別のオススメ店舗情報。歴代メンバーが実際に足を運んだお店をリストアップした「生きた情報」が魅力のリストです。

この度、商工会ホームページのリニューアルに合わせ、「お助けマップ」発足以来積み重ねられてきたこのリストを一斉に見直す作業を実施。全メンバーで手分けしてエリアごとの店舗情報を確認したり、新たなオススメのお店をリストアップしたりして、昨夏、無事に更新を終えたところです。

作業がひと段落した最近では、ミーティングの際、季節の行事にまつわるオススメ情報をコラム形式でお伝えすべく、試食会・体験会も実施！夏休み前には「一時帰国の際にオススメのお土産」のアイデアを持ち寄り、ハロウィン前には「ジャック・オ・ランタン」を自分たちで彫ったり、和気あいあいとした集まりの中で、Webページのさらなる充実を図っています。



「お助けマップ」には他にも、車や免許のこと、医療のことなど、ヒューストン生活を支える情報を掲載しています。今後とも、ヒューストンで生活していて困ること・戸惑うことを解決できるような情報や、ヒューストン生活を楽しく彩る情報をさらにお届けできるよう、メンバー一同、自分たちも楽しみつつ！活動していきたいと思っております。

メンバー募集中です！



「ヒューストンお助けマップ」は、作るのも読むのも、ヒューストンに暮らす私たちです。みなさんがここでの生活で見つけた素敵なお店、魅力的なスポット、楽しいイベントなどの情報や、転居時にこんな情報があると助かる、初のアメ利カ生活でこんな戸惑いがあった…といったご自身の体験を発信しませんか？お助けマップの「生きた情報」を一緒に増やしましょう！

活動は月1回(原則、木曜の午前中です)2時間程度のミーティング。また、Webページのフォームを通じての「オススメ情報の投稿」も大歓迎です！

先月号より3回にわたり連載するロッキー山脈登山記、第2部ではいよいよ本命のMt. Longs Peakへの挑戦。足慣らしのつもりで挑んだコロラド州最高峰Mt. Elbertでは急性高山病に思いのほか苦しめられ、4,000メートルを超える登山が如何に大変なものか思い知らされた。早速峻峰の洗礼を受けながらも、Mt. Elbertより格段に難易度が上のMt. Longs Peakへと、さらに過酷な自然に筆者が挑む！



8月5日朝8時に起床。心配された足の筋肉痛はほとんどない(数ヶ月前から筋トレしていたおかげか)。今日は次の目的地、ロッキー山脈国立公園への移動。車で2.5時間である。



ロッキー山脈国立公園のシンボル“Longs Peak”

そして遂に今回の目玉の“Longs Peak”の全容を見渡せる場所に着いた。が、その雄姿は人を寄せ付けない、畏怖の念をかもし出し、それまでの期待は一瞬にして不安に変わった。まずは公園管理事務所に赴き、事前に予約していたBackcountryキャンプの入山許可書を

もらう。そして翌日の出発点であるLongs Peak 登山口の下見を行い、登山口から10分ほど離れたキャンプグラウンドに移動。ここはいわゆる一般のキャンプ場である。ロッキー山脈登山で人気ランキング上位のLongs Peak登山に於いて、最初の難関は登山口で駐車場を確保できるかどうかということである。というのもLongs Peak登山口には約40台分の駐車場しかなく、満車となった場合には路肩に駐車するしかない。しかしそれもせいぜい20台が限界。そして7、8月のピークシーズンには、連日午前3～4時には駐車場、路肩は車で一杯になるという。なぜなら大半の登山者は日帰りであり、山頂・高所での落雷事故を回避するため、雷雨が発生しやすい午後までには下山してしまう、もしくは少なくとも森林地帯まで下りてしまう目処を立てる、そこから時間を逆算すると登山口を真夜中2時過ぎまでには出発しなければならぬ。ということでその日の登山を確実なものにするためには、まずは駐車場の確保が絶対なのである。

今回の行程は、初日8台目のBoulder Fieldキャンプ場まで登る、2日目頂上へアタックしBoulder Fieldキャンプ場に戻る、3日目下山するという二泊三日である。そのため1日目は真夜中に出発する必要がない(その分、担ぐ荷物の重量はハンパないが)。そこで駐車場は日帰りの登山者が帰ってくる昼頃であれば駐車場に空きが開始するので、それから登山を開始、Boulder Fieldに夕方5時頃の到着を目指すパターンでもいいのかとアドバイスを管理事務所でもらい、そうすることにした。いずれにせよ真夜中に出発する必要がなくなり十分な睡眠をとることができるため精神的には随分楽になった。



登山口の公園管理事務所

8月6日朝9時キャンプ場を出発。そのまま麓の街Estes ParkにあるアウトドアショップでBear Canisterをレンタルし、そのショップの駐車場でこれからBackcountryキャンプに持参するための全装備、食料等をバックパックに詰める。水はひとたび登山を開始したあとは水呑場がないため、3日分の必要量を考え、3.5リットルを持参することにした。Boulder Fieldは標高3,890メートル(富士山より114

メートル高い)であるため気温は夜には摂氏1～2度まで下がる。そのためヒートテック2枚、ダウンジャケットも持参、翌日の登頂用の小さなバックパック、食料、寝袋・マット、テント、ガスバーナー等その合計重量は想定以上(Bear Canisterの重さが想定外)の計20キロ近くになっていたと思う。

午前11時、Longs Peakの登山口(2,835メートル)に到着。想定通り10分後には駐車場をゲット。今日はここからBoulder Fieldキャンプ場まで、道のり9.6

キロ、標高差1,055メートルの行程である。11時15分、登山口を出発。最初の1時間は比較的順調な滑り出しだった。気温は20度前後ではあったが、ほとんど木陰であり実に爽快。しかし木々の高さがだんだん低くなるにつれ、またもや初日のような息切れが始まった。そして3,300メートルの森林限界線付近では初日と同じような急性高山病の症状が出始め、そのあとは急激にペースが落ちてしまった。ただ唯一Mt. Elbertと違ってLongs Peakの頂上が遠くに見えるため、目指すBoulder Fieldは大体あの辺りにあるということがイメージできたのは精神的には少しはましであった。さらにその日は珍しく午後とも天候は安定していたのもラッキーであった。

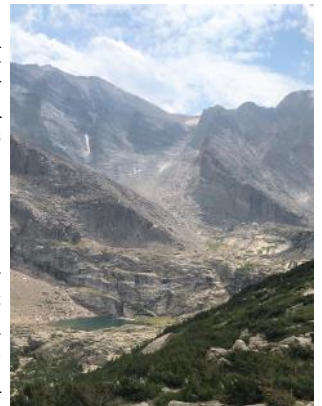
そしてChasm LakeとBoulder Fieldの分岐点に到着。この時点で今日の行程の2/3を登ったことになる。しかし時刻は既に午後4時を回っており、もう下山してくる人もおらず不安な気持ちもたげ始めた。ただ静寂の中、シマリスとモーマットの泣き声だけが響き渡る。

そんな不安を感じながら残りの1/3はさらに過酷なものであった。荷物の重さに肩が悲鳴をあげ、息切れ、吐き気がひどい。遂にBoulder Fieldの入り口に差掛かったが、その名前の通り広大なFieldにぎざぎざと3、4メートルの巨大な石が一面に敷き詰められており、もちろん平らではない。さらに困ったことに、どこが道なのか、どの方向にキャンプ場があるのか、さっぱり見当がつかない。とにかくただ上を目指して岩と岩の間をジャンプしながら歩き続けるしかない。

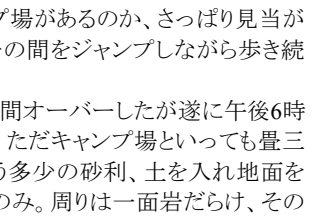
30分間に亘る岩との格闘の後、予定を2時間オーバーしたが遂に午後6時にキャンプ場に着いた。強風、気温は10度。ただキャンプ場といっても畳三枚ほどの岩と岩の隙間にテントが張れるよう多少の砂利、土を入れ地面を水平にただけである。サイトの数は7箇所のみ。周囲は一面岩だらけ、その岩の下には見えないが残雪から溶け出した水が幾重にも流れをつくっており、そのせせらぎが聞こえる。眼前には悠然とLongs Peakが構えている。今まで見たことの無い世界であり、まるでNASAの火星探査機Curiosityが送ってきた火星の映像と同じ光景といっても過言ではない。その日そこでキャンプしている人は6、7人くらいか。日没は午後8時過ぎである。すぐにテントを張ったが、頭痛、吐き気がひどく食事どころではない。ただ喉だけが異常に渇く。2日目、3日目を考え、持参した水の残量に気を配りながら摂取しなければならぬ。思いつき飲みたい気持ちをぐっとこらえ、一口だけ口に含み渴きを癒す。体はもはや水以外何も受け付けず、8時に就寝した。(3月号に続く)



出発直後の登山道



眼下にChasm Lakeを望む



Boulder Field キャンプ場に筆者のテント

(文責: Marubeni America Corporation 平澤暢人)



アゼリアトレイル

アゼリア??と聞いてもピンときませんでしたが、アゼリアは日本人にも馴染みのツツジの事です。ヒューストンでも春先に道沿いで鮮やかに咲くツツジが気になっていた私は、昨年初めてアゼリアトレイルを訪れ、とても感動したので、ぜひ皆さんにも参加頂きたい、紹介させていただきます。

アゼリアトレイルは毎年アゼリアが咲く期間に3日間限定でRiver Oaks地区で開催されるイベントで、今年で既に84回目となります。このイベントでは満開の色鮮やかなアゼリアを見るだけでもとても癒され大満足なのですが、それだけではなく、

期間中River Oaksの個人の豪邸・庭園内も鑑賞することができます。River Oaksと言えばヒューストンの憧れの豪邸地区として有名ですが、豪邸内を訪れるチャンスはなかなかない為、とても貴重な機会です。アゼリアトレイルは鑑賞したい軒数分のチケットを購入するシステムで、4軒のRiver



Oaks地区の私邸とBayou Bend GardenとRienziの計6か所を観る事が出来ます。また、7ヶ所目のRiver Oaks Garden Club Forumは無料で入場可能です。期間中はトレイル内のフリーシャトル運行もあるので、ゆっくりシャトルで移動してもよし、効率的に自身の車で移動する事も可能です。アゼリアが綺麗に咲き誇る庭園はそれぞれの家主のセンスが反映されていて散策しているだけで面白く、邸宅内で鑑賞出来る家具・絵画・陶器は今使われていないアンティーク調のものもあれば、トレイル期間中家主が開放している現在も使用中のものもあり、いずれも豪華でうっとりしてしまいます。各邸宅・庭園ではRiver Oaksらしい上品なイベントホスト達が親切に説明もしてくれ、気分はすっかりRiver Oaks住民です。思っていた以上にあっという間に時間が経ち、去年は午後半日で結局3ヶ所しかまわることが出来なかったのが、今年は残りの邸宅を訪れたいと思います。

百聞は一見に如かずです!!年のうち3日だけのこの機会に訪れてみてはいかがでしょうか。

<The 84th Azalea Trail >

場所: River Oaks Neighbourhood, Bayou Bend, Rienzi

日時: 3月1日(金)-3日(日) 11:00AM-5:00PM

入場料: \$30 (all venue), \$10 (single site)

前売りチケットはH-E-B, Randalls等で購入可。

詳しくは下記Websiteをご確認下さい。

<https://www.riveroaksgc.org/another-post/>

(文責: 國光涼子)



ピーカンキッズ 活動報告 —読み聞かせの会—

2019年最初の読み聞かせの会を1月18日(金)に開催いたしました。小さなお客さまがたくさんいらっしやると私たちスタッフもとても張り合いです。「今日はたくさん来てくれるかな?」と毎回ドキドキしながらみなさまをお待ちしております。今年は会の対象年齢枠をなくし、赤ちゃんからちょっと大きなお子様までみんなで一緒に、手遊び歌なども取り入れ、よりシンプルで分かりやすく、「来てよかった!」と思っただけのような会を目指していきたいと思っておりますので、是非お気軽にご参加くださいませ。

今回読んだ本の一部と読み聞かせの会の様子をご紹介します。

おべんとうバス 真珠まりこ 作

お弁当箱に見立てたバスに、ハンバーグくん、エビフライちゃん、おにぎりさん等々が次々に乗ってきます。バスに乗り込む際、子どもたちにも一緒に「はいい!」と元気にお返事してもらいました。お子さんをママの膝に乗せて、手遊び歌「バスにのって」をうたいながら、遠足へ出発進行! 大いに盛り上がりました。

ペンギんたいそう 齋藤慎 作

ペンギンの親子が体操する本です。黄色いページが目を惹きます。言



葉も絵もとてもかわいく、みなさんに立っていただき、本と一緒に体操していただきました。ちびっこたちがペンギンさんに合わせて一生懸命身体をよじらせる姿に思わずほっこりしました。

たまごのあかちゃん(大型絵本) 神沢利子 作

毎日目にするたまご。大好きな子も多いことでしょう。動物によって大きさ、一緒に産まれてくる数も様々です。ページ毎に色々なたまごが登場し、何が産まれてくるのか想像力を掻き立てられます。最後に出てくる特大たまご、大型絵本だと迫力があります。みんなで大きな声で、「でておいでよ〜!」と声を合わせました。さて、中から出てきたのは? きゅーうきゅーうきゅーう。

ピーカンキッズ今後の開催予定

<あそぼーかい>

3月2日(土) 9時30分〜

3月5日(火) 10時30分〜

4月5日(金) 10時30分〜

4月6日(土) 9時30分〜

<読み聞かせの会>

3月1日(金) 10時30分〜

(読み聞かせ&リミック先着15組)

4月13日(土) 10時〜

※各日も赤ちゃんから未就学のお子さま対象

*変更がある場合もございます。三水会センター内のポスターやコミュニティサイト:ヒューストンナビ<hounavi.us>でもご確認ください。
*スタッフは随時募集中です。ご興味をお持ちの方やお問い合わせは、次のアドレスまでご連絡ください。お待ちしております。

あそぼーかい

読み聞かせの会

mama.asobokai@gmail.com

houstonyomikikase@yahoo.co.jp

牧場日記

2. 千の命

昼間、高層ビルに囲まれた職場で働き、夕方には父の牧場で動物の世話を始めて数年になります。

都会では、まったく感じられない大地との繋がりをを感じる喜びがあると同時に、どれだけ疲れていても、体調が悪くても、天気が悪くても、生き物相手ゆえに欠かせない作業を毎日続けてきました。子豚が命を落とすなど辛いこともありましたが、毎日「命」に囲まれている感覚があります。今回はそんなエピソードをいくつかご紹介したいと思います。



一昨年、一台の家畜運搬車が牧場の前にとまりました。車から降りてきたのはおじさんと小学生くらいの男の子です。運搬車の中には、きれいな栗毛の牛が一頭乗っていました。お話を聞くと、お家が経済的に窮地でどうしても家畜を世話できる状態ではないとのこと。それは男の子の誕生と同時に買った牛と一緒に大切に育ててきたのだそうです。一度は食肉処理場へ持っていきましたが、あまりに男の子が悲しむので、引き取ってくれる牧場を探し回っているとのことでした。もちろん、牛は食べられる運命と知りつつも、自分が飼っている牛を殺めるのは想像以上に辛いことだと思います。

それだけに、牛の牧畜農家の人たちは、自分達が精魂を込めて育てた牛が、精肉となり自分達の口の中にはいっても、どの牛を食しているかわかるのだそうです。それ故に、飼っている間は大事に扱ってあげるべきだと考えているのだそうです。きっとほとんどの人々は、日常食べている食料がどこからどうやって来たものなのかなど、考えも巡らせないでしょう。私は家族の皆と相談して、この牛を引き取ることにしました。お別れの時、牧場を出ていく男の子の乗ったトラックに向かって、牛は大きな鳴き声をあげました。その後時々、男の子は牛に会いにやってきます。そして、飼い主だった彼にとっても、これがハッピーな結果となりとてもよかったと思っています。

昨年の夏には、ハリケーン・ハービーがありました。我がTOY STORY牧場も例外なく水害に遭いました。背の高い馬たちや、高いところに登れる山羊たちは、無事に水に浸っていない土地へと移動できました。土地の一部は、腰まで浸かる程の水位となり、土地の隅を厩舎にしていた小動物たちは、水の中に取り残されてしまいました。降り続く雨の中、家族と近所の方々と一緒に、必死の救出を試みました。蛇や野鼠も、助からんとばかりに私たちの体に這い登ってくるなか、泳ぐように各厩舎に向かいました。まるで映画のワンシーンのような、壮絶な暴風雨の中での前進でした。中でも酷かったのは、鶏小屋でした。鶏小屋には、高い所に止まり木もあることだし、多分大丈夫だろうと、最後に救出に向かった先でした。雨風で壊れて閉じてしまった鳥小屋の戸をこじ開けると、水の上に浮かんだ瓦礫の上に乗った数羽のひよこを守るように、羽を広げて覆いながら浮かんでいる母鶏の姿がありました。母鶏は、高いところに登れないひよこを水に浮かんだ板にのせて、ひよこ達とともに息絶えていました。救えなかった悔しさと切なさ、最後に救いに行ってしまった後悔で涙がとまりませんでした。災害を恨んでもしかたありませんが、ハリケーンの後にはできるだけ高い位置に小屋を設置するようにと改善していきましました。今もなお改善作業は続いています。



それからこんな事もありました。昨年未まで末期の前立腺がんの治療を受けていたアメリカ人のおじさんが、療養の為に牧場でひと時を過ごされました。牧場の新鮮な空気と生命感あふれる土地で、いつになく生き生きとされていました。牧場のある美しい夕暮れ時に、ロッキングチェアに座りながら、遠く離れた所にいる息子さんへ「なあ、お前には信じられないだろうけど、今わしは最高にきれいな夕日を見ながら最高の気分にいるんだよ。生きていてよかったと感じるよ。」とお電話されていたのを思い出します。

他にも、ウサギは妊娠すると、自分の毛を引きちぎり、暖かい安全な場所でお産することに感心していた矢先、生まれた自分の子どもを他者に見られると殺してしまう習性があることを知らずに、手助けしてしまい死なせてしまったことに後悔したこと。ヤギのお母さんは、生まれてすぐに自分の足で立ち上がり、お母さんのおっぱいに吸い付かない赤ちゃんを、育児放棄してしまうこと。豚の出産に立ち会い、涙を流しながらお産するお母さん豚と一緒にい込んだことなど、動物に触れ合うことで本当に様々な感情が湧きあがります。これらの体験を通して、私は生き物がより好きになっただけでなく、命のぬくもり、大切さを学びました。



「命は大切であるか？」と尋ねられれば、「大切である」とふつうは答えるでしょう。しかし大事なものは「命は大切である」と言葉の上で理解することではなく、一人ひとりが心から実感することだと思います。実感は体験する中で得られるものですが、見る・聞く・触れる・嗅ぐ・味わうといった五感を通して、私たちは学んでいくのかと思います。私は今、我が家の子どもたちとともに、牧場の営みのなかで、喜びや悲しみ、楽しみや苦しみ等の豊かな体験をし、命と向きあうことで命の大切さを学んでいます。「生きていてよかった！」「生きるって素晴らしい！」という声を、思わずあげてしまうような感激の体験、役に立てたという満足感を味わえる体験をしています。あらゆる命には

限りがあり、生あるものは必ず死を迎える。そして命は一度失うと、取り返すことができない。だからこそ、命はかけがえのないものなのです。私たちは様々な人々、あるいは自然や動物等との関わりの中で生活しています。今、自分自身が生きているのは、直接あるいは間接を問わず、様々な人々や自然の営みのおかげです。私たちが日々食べているものは、すべて命あるものであり、その命によって生かされているということ、それをいただいて生きているということ、しっかりと受けとめる必要があります。また、今の自分の命は、遠い祖先から祖父母、父母、自分へと、脈々と受け継がれてきたもので、そうして受け継いだ命は、未来に向かって繋がり続けるものであること、命というものが、決して自分だけのものではなく繋がっているものであると、身をもって感じています。

おもちゃに命を与えたディズニー映画にちなんで命名したTOY STORY牧場では、動物のお世話やガーデニング、畑作りをお手伝いくださる仲間をお待ちしております。実際に自然や動物に触れあってこそわかる命の感動をぜひ一緒に体験してください。



toystoryranch.com

(文責：ウィリアムス 泰子)

2019年

日本人会新年会開催



1月12日(土)3時30分から、ヒューストン市郊外の望月文化会館において、日本人会の新年会が盛大に開催されました。新年早々の寒波も和らぎ、当日は天候にも恵まれ、過去最高の約450名の方が参加されました。

まず日本人会の武智会長より、ボランティアの皆さんへの感謝や干支の亥年にちなんだ話を含む年頭の挨拶がありました。続いて、ご来賓の福島総領事より心温まる祝辞をいただき、鏡割りに続き、ヒューストン日本商工会を代表して小風会長が平成最後の新年を祝った乾杯の音頭を取られました。



会場の望月文化会館は元フィットネスセンターを改装されたもので、広大な敷地に400名以上収容出来る会場・お茶室・太鼓道場・空手道場・テニスコート及び広大な庭があります。当日は日本人会のボランティアの皆さんが早くから集まり、餅つきの道具・椅子・テーブルの設営から料理の準備を行いました。

今年もボランティアの女性陣が、つきたてのお餅を手際よくお雑煮、安倍川餅、磯部巻き、あんこ餅などにして、新春の気分を盛り上げました。その隣ではジャパンフェスティバル定番のつくね、唐揚げが振る舞われ、庭園ではAGUラーメン様の「新年特別とんこつラーメン」の製作実演があり、長蛇の列が出来ました。当日は子供たちが約150名程来られたので、綿菓子コーナーには行列が出来ました。ダラーショップも開かれ、「安い」と言って大量に購入して行かれる姿がみられました。三和酒類様からはいちこの試飲会、アサヒビール様からは数多くのビールのご提供があり、和やかムードで会は進行しました。

1階のメイン広場には白と杵を設置し、アメリカではもちろん、日本でもあ

まり経験できない餅つきに子供たちも大勢参加し、来場者は我が子の楽しい思い出を写真や動画に記録していました。また、パーカウンターでは日本のかき氷製造機による本格的なかき氷コーナーが設けられ、ヒューストンならではの1月のかき氷を楽しんでいただきました。

舞台では、ヒューストンを代表する和太鼓グループ「雷太鼓」による、直径2メートルの大太鼓を使った迫力のある太鼓の演舞で、会場は大いに盛り上がりました。会場の2階では、日本の伝統的なお正月には欠かせない羽根つきやコマ回しが体験でき、こちらも子どもたちに大好評でした。

イベントの最後は、豪華景品が当たるお待ちかねの恒例福引大会。事前に会員更新された方には特別枠での抽選のダブルチャンスもありました。豪華賞品にはANA様ご提供の日本往復航空券、ユナイテッド航空様ご提供の米国内往復航空券2枚、各日本企業の皆様や地元レストランから多くの食事券、ギフトカード、ヒューストンロケットのチケット、お米等が用意されました。

最後は、日本人会の松村副会長の閉会の挨拶と三三七拍子で締めくくられ、本年の日本人会の新年会も盛会のうちに無事終了しました。会場をご提供くださった望月夫妻、当日のセットアップや事前準備にご協力を頂いた多くのボランティア、来賓の方々、福引の賞品を提供して下さった企業および個人の皆様、ご参加いただいた皆様に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。
(文責：日本人会広報部)



駐妻のヒューストン日記

第173回 鵜飼久美子 さん



2016年4月、ヒューストン勤務。夫の辞令が出ました。その前から夫は頻繁にミネソタへ出張に行くようになり、赴任後も出張でヒューストンを離れていたため、私と娘は夫がヒューストンに戻って来るタイミングで渡米しました。出張が多くなってきた頃からもしかしたらアメリカ赴任になるかもしれないと聞いていたので、辞令が出た時は案外あっさり受け入れられました。ヒューストンと聞き、宇宙兄弟が大好きな私たちはNASAに行こう！なんて意気揚々としていたほどです。当時4歳の娘も父親と離れていることが寂しく、アメリカに行ったら父親に会えると思っていたので早く行きたがっていました。旅行気分ヒューストンに到着し、お家は大きくてプール付き。私と娘は大興奮でした。でも、ほどなくして現実を見るのです。初めての海外生活、築30年の家で色々な問題が生じる中、夫は再三の出張で不在。英語もわからなくて日本が恋しくなり、家族や友人に会えない寂しさから最初の3か月で心身ともに本当に疲れ果てていきました。

容赦なく色々な手続きに追われ、やっとの思いで予約した娘の予防接種。まさかの太ももに4本も打たれ号泣。Pre-Kの手続きでは、私の英語が伝わらず、「は？」の聞き返しの連続に心折れました。そして、娘はわけもわからず通いしましたが、人見知りな上に英語もわからない、日本人は誰もいなくて全く話さないで過ごしていたようです。心配でこっそり外遊びを見に行ったりしていました。先生に相談すると、カンファレンスの時間を作ってくれました。先生は、「人には個性があり、よく話す子、あまり話さない子がいる。彼女は友達と楽しそうに遊んでいるから無理に話させる必要はないし、心配ないよ。」とのことでした。その後、学校のイベントに必ず行くように

して様子を見てみると、先生が、「この子は友達よ」と紹介してくれたりして、娘が楽しそうに過ごしているのを見て少し気持ちが楽になり、心配しすぎではいけないと思い直しました。1か月後には先生が、「今日彼女が初めて話したよ!」と、嬉しそうに伝えて下さり安心しました。私は子どもの個性を尊重し、「待つ」ことの大切さを教わりました。遅く成長している娘を見て、娘からもたくさん教わっている気がします。

私もESLのクラスメイトと少しずつ仲良くなり、また娘が日本語補習校にも通い始めるなどして徐々に交友関係が広がり、不安だらけだった毎日が楽しくて充実した日々に変わっていきました。近所の公園でのバレーボールにも誘われ、30年ぶりだったので迷いましたが、娘を連れて行けばチームメイトの子供たちと一緒に遊んだりできるかなという思いから、思い切って始めることにしました。私自身もチームメイトたちと徐々に話せるようになってきた時、私が平日は家事と娘の送迎に追われていると言うと「あなたは楽しんでる?あなたが好きなことをして楽しまなきゃ!」と言われたのが印象的で、家族のことを大切に思うように自分自身にも目を向けてみようと思いました。それからは、ヨガ教室、ウォーキング、ソーイングなど、自分の好きなことを始めました。

ヒューストンに来てから感じることは、暖かい気候と広大なテキサスだからでしょうか、皆明るく気さくに話しかけてくれ、何事も楽しむのが上手な人たちが多いということです。本当にたくさんの方々のおかげで無理ながらもここまですることができました。ここでの経験は家族にとって、ものすごく大きな力となっていることでしょう。これから私たちにできることは何か、日々模索していきたいです。





このページでは医療の最前線でご活躍されているメディカルセンターのドクターにリレー方式でご登場頂き、健康と医療についてお話しして頂きます。

前回の池田早希先生から感染症内科でご専門の櫻井亜樹先生にバトンが移りました。

第172回

抗生剤が効かない？！

University of Texas, Houston/ MD Anderson Cancer Center,
Infectious Diseases
Clinical Fellow 櫻井亜樹



2017年6月よりUniversity of Texas, Houston/ MD Anderson Cancer Centerの感染症科でClinical Fellowをしている櫻井亜樹と申します。感染症科といってもあまりピンとこない方も多いかもしれませんが、内科の中でも感染症、つまり熱がでる病気を専門にしている科です。今回は感染症医の立場から今後数十年、大きな問題になってくるであろう薬剤耐性菌についてお話ししたいと思います。

ところで皆さん、最近熱がでた事はありますか？

発熱の原因のほとんどは、風邪に代表されるウイルスによる感染であり、しっかり数日休養をとれば、自分の免疫が治してくれます。しかし中には、怖い発熱、つまり適切な治療を受けないと重症化する病気も潜んでいます。身近なところでいうと中耳炎・尿路感染症などに代表される細菌感染症がそれにあたります。

しかし怖いといっても有効な抗生剤(=抗生物質、抗菌薬)で治療すれば治ります。ちゃんと、治癒する病気でした。しかし現在、抗生剤の効かない菌(=薬剤耐性菌)の出現により、この認識が脅かされようとしています。なにが起きているのでしょうか。

人智を超えていく？！ 細菌の進化

1928年にフレミングによって青カビからペニシリンが発見されるまで、人類は常に感染症の脅威に晒されてきました。例えば、農作業中にできた傷が膿んで細菌が全身に回る(敗血症で死亡)、中耳炎が悪化し脳まで感染が広がる(脳膿瘍・髄膜炎で死亡)など、感染症は長いこと人類の死因の第一を占めていました。

ペニシリンをはじめとする抗生剤が一般的に普及するようになった1950-60年代にかけて人類の平均寿命は急上昇しました。その後も多くの抗生物質が開発され、細菌感染症は“抗生物で治る病気”となり、あたかも制圧されたかのようにみえました。

しかし、そんな晴れやかな抗菌薬開発の舞台の裏側では、研究者と細菌の熾烈なイタチごっこが繰り返られていました。人間が「A抗生剤」を開発する。すると数年後には、それに耐性をもつ細菌が出現する、それではと「B抗生剤」を作ればAにもBにも耐性を示す細菌が出現する、という、まさに“追いつけ追い越せ”のガチンコレースが行われていたのです。

ところが、数年前よりこのレースの均衡が崩れてきました。細菌の進化のスピードと拡散が著しく、抗菌薬の開発が追いつかなくなってきたのです。既存のすべての抗菌薬が効かない細菌(多剤耐性菌、アメリカでは“Superbug”とも呼ばれています)により亡くなる患者さんの数も増えてきました。

なにが原因か？

医学が発展し、医療が高度化・複雑化する中で、他の薬剤と比較して安価な抗菌薬は多く処方されてきました。「抗生物質を飲めば早く熱が治る」「熱が予防できる」といった医療者側・患者側双方の誤った認識も加わり、抗生剤が不要なケース、例えば風邪のようなウイルス感染にも抗生剤が多く使われてきました。また、人間のみならず家畜や農作物に対しても、その生産性を上げるため予防的に日々大量の抗菌薬が使用されています。

このように多くの抗生剤が消費される中、細菌が大人しくしているはずがありませんでした。彼らは人類が出現するよりも遥か昔、約35-39億年前に地球上に誕生して以来、常に厳しい生存競争に晒されながら、ありとあらゆる環境に対応できるよう進化してきました有能な生物です。抗生剤で叩かれるなら、その抗生剤に耐性を獲得した菌株に進化することは、彼らにとっては難しいことではないのです。こうして世界の各地で、既存の抗生剤が効かない多剤耐性菌が出現するようになり、グローバル化に伴う人や農作物・食肉の国境を越えた移動と相まって、耐性菌は現在、急速なスピードで全世界に拡散しようとしています。

個人として、なにができるか？

是非、身近なところから取り組んでもらいたいと思います。冒頭でもお伝えしたように、一般的な風邪(ウイルス感染)の場合は抗菌薬はいりません。よく医師と相談し、本当に必要な時のみ、つまり細菌感染が疑われる時にのみ抗生剤を内服するよう心がけましょう。また抗生剤を内服するときは、必ず処方通りに内服し、指示された分量を飲み切ることも大切です。抗菌薬を飲んだり飲まなかったりすると、その休んでいる期間に抗生剤が効きにくい菌が増え、治療失敗・薬剤耐性化につながります。また治療期間が不十分ですと、感染がぶり返す可能性が高まります。

最後に

未来に少しでも多くの抗生剤を残せるよう、今一人ひとりの認識の変化と、国レベルでのアクションが必要になっています。(現在、米国ではCDC、日本では厚生労働省が中心となってAMR:Antimicrobial Resistanceの対策プランを打ち立てています。)是非、身近なところから取り組んでみて下さい。

次回は、乳腺科医師で現在MD Anderson Cancer Centerで研究留学されている喜多久美子先生です。喜多先生とは、渡米前に勤務していた聖路加国際病院からのお付き合いです。患者さんの診療でもよくコラボレーションさせて頂きました。

各種イベントのお知らせ

講演会

「顧客情報漏えい等のサイバー犯罪に於ける企業損害リスクと対応策」

(主催：ヒューストン日本商工会・JETROヒューストン)

3/5

近年、顧客情報の漏えいが企業経営に多大な影響を及ぼす事例が報道されており、その原因は外部からのサイバー攻撃に限らず、内部者の不正行為によるものもあります。

またウェブサイトの改ざんやDDoS攻撃によるサービス停止といった被害も発生しており、原因調査や復旧作業に多大な費用が必要になる等の財務面、及び企業の信用面に於いても多大の損失を与えかねないサイバーリスクは看過できないものとなっています。

本講習は、Amazonランキングで1位を獲得した『サイバー犯罪入門』の著者である足立照嘉氏より、企業の経営者やリスク管理責任者等を対象に先端のサイバー犯罪の手口と、それに対する対応策等、及び損害保険の見地からの損害補償について解説をして参ります。

日系企業の米国でのビジネスに大いに役立てていただけるものと考えており、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2019年3月5日(火)2:00 pm～4:00 pm
会場：United Way of Greater Houston CRCオーディトリウム
(50 Waugh Drive, Houston, TX 77007)

講師：足立照嘉：サイバーセキュリティ専門家であり、投資家。
城戸直樹：損害保険一般に精通、米国Japan Global Practice GroupのNational Sales Leaderを勤めている。

定員：50名
お申込み及びお問い合わせ：ヒューストン商工会事務局
Tel: (281) 493-1512 Email: sansuikai@jbahouston.org

Japan Festival

4/13, 14



4月13日(土)、4月14日(日)に、Japan FestivalをHermann Parkにて開催します。毎年2万人以上の来場者を誇るヒューストンでも有数のイベントは、今年で26回目を迎えます。ヒューストン日本商工会は、例年同様キッズ縁日を担当します。縁日の運営には多くの方々のご協力が不可欠ですが、毎年、商工会の会員やご家族の皆様

様にボランティアとしてご参加いただき、この一大イベントの屋台骨を支えていただいております。例年以上に盛大なものにすべく、本年もご参加ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

Japan Festival Houston 公式ウェブサイト：
<http://www.houstonjapanfest.org/>



2019年 商工会ソフトボール大会

4/21

この季節がやってまいりました！暑いシーズンの到来です！

日本人商工会では、今年も前年同様、Houston Sportsplexにてソフトボール大会を開催いたします。多くの方にご参加いただき、親睦を深めていただきたいと考えております。毎年、各チームによる熱戦が繰り広げられる大会です。プレーのみならず、皆様の観戦・熱い声援もお待ちしております。

開催月日：2019年4月21日(日)
※雨天の場合：5月27日(月)
開催場所：Houston Sportsplex
(12631 S. Main St., Houston, TX 77035)
www.houstonsportsplex.com



他団体便り



オースティン 日本人コミュニティー

2001年より活動してきたオースティン日本コミュニティー (Austin Japan Community) は非営利団体として公式に登録されました。

～テキサス州都で日本関係の窓口的役割を担う～

政治・学園都市として知られたオースティンには今迄も日本人学生や親日アメリカ人を中心とした親睦交流団体が個別に活動していました。

一方、オースティンが国際的に注目されるハイテク産業・アート発信地となるに連れ、内外から日本関連の情報やサポートに総合的に対応できる組織が求められるようになりました。

それに応え長らく日本人コミュニティーをサポートし、奉仕活動やイ

イベントを通して地域交流を続けてきたオースティン日本コミュニティーAJCがNPOの認可を得て広範な活動を開始しました。以下を目標に掲げています。

- ・引き続き定例食事会、講演会を通して親睦、ネットワーキングの場を提供
- ・清掃活動を含む奉仕活動
- ・オースティン進出企業及び家族の支援窓口
- ・テキサス主要都市日本人会との連携
- ・地域、各種団体との交流窓口
- ・SXSW (サウス・バイ・サウスウエスト)のサポート窓口
- ・日本総領事館とのリエゾン的役割

【お問い合わせ先】

E-mail : info@austinjapancommunity.org
Web : <https://www.ajc-austin.com/>
Facebook : <https://www.facebook.com/ajctx/>



Keep Austin Beautiful の清掃奉仕活動。AJCの看板の前で

By Kumiko



Houston Walker



■Feb25-Mar17

Houston Livestock Show and Rodeo
@ NRG Center
(1 NRG Park, Houston, TX 77054)

待ちに待ったヒューストンの一大イベント、ヒューストンロデオの季節が到来! 約1カ月の開催期間中にはNRGセンターにカウボーイハット・ウェスタンブーツで正装したヒューストニアン達が集結。迫力あるロデオショーと世界最大の家畜品評会、連日の有名アーティストのコンサート、今年は誰がパフォーマンスをするのか要チェック。会場にはカーニバル(移動遊園地)やカウボーイグッズのショップ、ヒューストンロデオ名物のフライドオレオといった仰天スイーツ等もあり。

チケット: \$20~(2歳以下無料)
<https://www.rodeohouston.com/>

■Feb21-23

The World's Championship Bar-B-Que Contest @NRG Park
(1 NRG Park, Houston, TX 77054)

ヒューストンロデオのキックオフイベントとして毎年開催されるヒューストニアン大好物のBBQの世界コンテスト。チケットにはBBQサンドイッチプレート、ライブミュージック鑑賞、カーニバルの入場料が含まれる。

チケット: 大人(13歳以上) \$20
子供 \$5 (2歳以下無料)

<https://www.rodeohouston.com/Tickets/Bar-B-Que-Contest-Tickets>



■Mar16

The 60th Annual Houston St. Patrick's Parade

(パレードのルートと開始場所は後日決定)
セントパトリックスデーはアイルランドにキリスト教を広めた聖人聖パトリックの命日。緑色の物を身につけて祝う「緑の日」とも言われており、全米各都市で大きなパレードが行われ、ヒューストンでも無料のパレードが正午からスタート。緑色の衣装やグッズを身につけて、アメリカの有名パレードにぜひ参加を!

<http://hsppc.org/>

■Feb22-Mar5

Mardi Gras! Galveston @Galveston
(23rd & Strand St., Galveston, TX 77550)

マルディグラと言えばニューオリンズが有名だが、ニューオリンズに行かなくても近場のガルベストーンでもマルディグラは毎年開催される。期間中の週末にフェスティバル・パレードが催され、午後にはファミリーで参加出来るパレード、夜には大人で盛り上がるDJイベント、23日(土)には5Kランもあり。イベントスケジュールを確認して、年に1度のアメリカ南部のお祭りに参加してみては?

チケット: \$14.95~
<https://www.mardigrasgalveston.com/>

Now Open

Izakaya WA 2nd Location @River Oaks
(2015 W.Gray Suite J Houston, TX 77019)
ダウンタウン・ギャレリア住民には嬉しい情報、Izakaya WAの2号店がついにRiver Oaksにオープン!

編集後記

新年が明けて1ヶ月が過ぎました。ヒューストンの年間気温を調べると、1月が最も気温の低い月とされていますので、少しずつではありますが暑い季節に向けて舵を切ったところと言えます。時折、強い雨が降ったと思ったら、内陸から寒気が延びてきて、驚くほど寒い日に遭遇します。

私事ではありますが、ヒューストンマラソンを走りました。特別に寒い朝であった上に、スタート時刻は日の出直前で、凍えながら動き出すのを待ちましたが、コース上では日本の方々の応援団を幾度となく見かけましたので、読者の中にも参加された方が多数いらっしゃったことと思います。この時期のヒューストンの一大イベントに出場された方も、寒い中を応援された方も、交通規制に遭われてしまった方も、大変お疲れ様でした。

さて、今号は新年会や晴れ着撮影会など、明るい写真が紙面を多く飾っています。また、春に向けて行われる各種イベントの告知も掲載させて頂いています。暖かくなって暑い時期を迎える前には、様々なイベントが開催されますので、これまで足を運ばれた事のない方も、気候の良いこの時期の各種イベントに是非とも参加を御検討下さい。

(松澤進一)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

発行: ヒューストン日本商工会
発行責任者: 小風 寧
編集委員長: 松澤 進一
構成・編集: 田村晴香/峯恵子/山村河奈
印刷: Sel-Fast Printing Copies & Laminating
(713) 782-2000